

## 森の中の小さな旅③

## 針畑郷・生杉 (滋賀県高島市朽木生杉)

大西清見

20年ほど前、泉州労山に入っていきなり引き付けられた山城が芦生でした。そのきっかけが同じ会員3名と、古屋から登った秋の三国岳(959m)でした。芦生の知識も全くなく、何となく山名にあこがれて単純に目指して登った三国岳、そこには一帯がブナなどの自然林に覆われ、その尾根歩きからも大自然の神秘性がしっかりと伝わってきました。「これも芦生の一部だ、その北側にももっと素晴らしい森が続いているはずだ。とことん歩いてみたい」とこの時、心に決めたのでした。同行者も登山を終えた帰り道で、同じような想いで「今日は素晴らしい森歩き、これからももっと芦生に行ってみよう」と語っていました。その後、毎年必ず、何度も山仲間にも声をかけ、芦生に足を運んだものでした。この芦生の拠点の一つになったのが生杉という集落でした。

針畑郷は、滋賀県高島市朽木の西部、安曇川の支流である針畑川の源流に位置し、8集落で構成されており、これらの集落は周辺を山々で囲まれています。針畑郷は約100世帯、人口は約180人で、そのうち一つの小さな集落が北西部にある生杉です。

この生杉をベースに昨年は三度訪れました。2月の積雪期、6月の新緑期、11月のおにゅう峠からの雲海でした。今回は2月の芦生の積雪期のことを少し。

豊かな森に憧れて20年、毎年のように何度も芦生を訪れてきました。なかでも冬の芦生で出会う風景、地域の人たちと生活や森を語り合うのが楽しみでした。芦生へのアクセスは、美山町(京都府)側と高島市生杉(滋賀県)側からありますが、今回は2月23日針畑休憩所(中牧)に泊めさせていただき、翌24日は生杉から芦生に入山しました。企画は連盟旧読図チームの有志3名、読図講習会で議論したコースをできるだけ歩いてみようということでした。諸事情で久しぶりの冬の芦生でしたが、この年は全国的に積雪が少ないようで、私が経験した冬の芦生では、最も少ない雪山でした。歩いたルートは、生杉-尾根-高島トレイルのルートでクチクボ峠-三国峠-地蔵峠、地蔵峠手前で急降下を避けて枕谷へ。このエスケープが予想外の正解で以前にも何度も見てきた美しい枕谷の雪景色が私たちを迎えてくれました。冬の枕谷は、この川やクレパスのような雪壁を何度も乗り越えていく楽しさがあります。久しぶりのクレパス越え、その枕谷には春の足音が少しずつ聞こえてきているようでした。



3.24 高島市生杉、まず尾根へ直登  
この尾根を北進すると高島トレイルへ

三国峠から地蔵峠への高島トレイルから  
枕谷へエスケープ、ここも春の足音が…

## 編集後記

2月15日～16日、第34回全国連盟総会に代議員として出席してきました。各地方連盟の報告や総会での討議の中から特に感じたことを書いてみたいとおもいます。各地方代議員からの多くの声は「組織の後退に歯止めはかかっていない、会員の減少にどう対策を立てればよいか」などの悩みが多かったことです。全国の会員数はこの一年で564名の減少（大阪は37名減少）、脱退・解散の会は22会・248名でした。その原因・理由としては圧倒的に「会員の高齢化」があげられました。そんな討論の中で、広島と沖縄の発言が注目されました。

広島…この10年、会員250名で推移している。やめる人も多いが、新しい会の結成などもあって入ってくる人も多いので減少になっていない。これからは会員を300名にしたい、と述べておられました。このような会員の推移や会員増加への目標を大阪労山も大切にしていきたい、と思いました。

沖縄…沖縄労山もやっと具体的に二つの会で再出発でき、これから組織拡大も重要な活動として頑張っていくそうです。沖縄で以前は登れた名護市の辺野古岳などが、新基地建設によって有刺鉄線が張られ登山できなくなった、とも報告。やはり平和であってこそ登山ができる、ことが沖縄からの報告で痛感しました。

15日の夕食時やその後の懇親会で他府県の方々と交流することができました。大半の方は、「今の政治情勢や労山の会員減少など多くの課題はありますが、こんなときこそ都道府県の労山で交流も深めて協力して頑張っていかなければ」と語っておられました。故西堀榮三郎氏の『南極越冬記』（1958年第1版）を書かれたあとのコメントを思い出しました。「人は変わると書けば、のイメージですが、人は変われると書けば、のイメージです」。今、全国の労山は変身中であると確信したのです。（大西）

\*\*\*\*\*

**今月も各会より会報を送っていただきました。**

安治川山の会ニュース（安治川山の会）、やまなかま（泉州労山）、きたろうニュース（きたろうHC）、にしよど（西淀労山）、ぽんぽん山（高槻）、福岡県連通信、労山おかやま、やまと友の会、京都労山、噴煙（鹿児島労山）、兵庫労山会報、県連ニュース（和歌山労山）

**発行日** 2020年（令和2年）2月25日 No.409

**編集・発行** 入澤、大西秀、笠井、園、高橋、中井、中尾、大西清

\*\*\*\*\*